

作成年月日	令和5年9月12日
作成部局名	財務部 財政課

令和5年度9月補正予算（緊急対策） （案）

令和5年9月12日

台風第7号に伴う災害や豚熱への対応をはじめ、児童の安全対策強化など県民生活の安全・安心の確保に向けた取組、耐震強度が不足する庁舎からの移転・撤去に向けた取組など、6月補正予算編成後に生じた財政需要に適切に対応する必要があることから、令和5年度9月補正予算（緊急対策）を編成

01 台風第7号に伴う災害への対応

53.9億円

- ✓ 早期の再建に向けた、被災者生活支援、中小企業や農林水産業の再生支援、施設等の復旧・復興対策を実施

02 豚熱への対応

0.7億円

- ✓ まん延防止・発生予防対策に対し所要の予算措置を講じるとともに、発生農場等の経営支援策を実施

03 県民生活の安全・安心の確保

31.1億円

- ✓ 県こども家庭センター・警察間の情報共有のリアルタイム化による児童の安全対策の強化、自転車用ヘルメットの着用率向上に向けた取組等を実施

04 本庁舎の再編

4.7億円

- ✓ 耐震強度が不足する庁舎からの移転・撤去を計画的に推進

補正予算規模 90.4億円

一般会計	90.4億円（国庫 45.2億円、特定 1.8億円、起債 40.2億円、一般 3.2億円）
特別会計	100万円（全額特定）※農林水産資金特別会計

施策体系別事業一覧 (1/2)

(単位：百万円)

事業名	金額	国庫		特定	起債	一般
		地方創生 臨時交付金	その他 補助金			
01 台風第7号に伴う災害への対応	5,386	0	2,668	9	2,708	1
(1) 被災者・中小企業・農林水産業支援	18	0	7	9	1	1
① 災害救助費繰替支弁金の交付	13	0	7	6	0	0
② 災害援護金の支給	3	0	0	3	0	0
③ 災害援護資金貸付金の原資貸付の実施	2	0	0	0	1	1
④ 経営円滑化貸付（災害対応貸付）の創設	既定予算対応	0	0	0	0	0
⑤ 農業融資制度（災害対応）による支援	既定予算対応	0	0	0	0	0
(2) 施設の復旧・復興対策	5,368	0	2,661	0	2,707	0
① 公共農林土木施設災害復旧事業	3,881	0	2,661	0	1,220	0
② 県単独災害復旧事業	1,487	0	0	0	1,487	0
02 豚熱への対応	73	0	38	1	0	35
(1) まん延防止・発生予防対策	71	0	38	0	0	34
① 発生農場の殺処分・消毒の実施	67	0	34	0	0	34
② 県内全農場の消毒の実施	4	0	4	0	0	0
(2) 経営支援対策	2	0	0	1	0	1
① 経営安定化対策資金の拡充	2	0	0	1	0	1
② 関連中小企業者への資金繰り支援	既定予算対応	0	0	0	0	0

施策体系別事業一覧 (2/2)

(単位：百万円)

事業名	金額	国庫		特定	起債	一般
		地方創生 臨時交付金	その他 補助金			
03 県民生活の安全・安心の確保	3,115	880	823	172	1,029	211
(1) 児童の安全対策等の推進	74	0	0	0	0	74
① 児童虐待事案のリアルタイム情報共有システムの構築	66	0	0	0	0	66
② 認定こども園・保育所等ホットラインの拡充	5	0	0	0	0	5
③ 児童養護施設の子どもたちの夢はぐくみ応援事業	3	0	0	0	0	3
(2) withコロナ社会の健康づくり	8	8	0	0	0	0
① SNS等を活用したがん検診受診・ワクチン接種促進事業	8	8	0	0	0	0
(3) 安全で豊かな生活の確保	992	872	0	120	0	0
① 自転車ヘルメットの着用促進に向けた支援	785	785	0	0	0	0
② プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト	60	0	0	60	0	0
③ ふるさとひょうご寄附基金積立金	60	0	0	60	0	0
④ 美味しい県産水産物 消費喚起キャンペーンの実施	70	70	0	0	0	0
⑤ 生徒への安定的な食事提供に向けた取組	17	17	0	0	0	0
(4) 社会基盤の充実・強化	2,041	0	823	52	1,029	137
① 公共事業内示増への対応	2,041	0	823	52	1,029	137
04 本庁舎の再編	470	0	109	0	284	77
(1) 庁舎の改修・撤去	447	0	103	0	284	60
① 本庁舎再編	251	0	103	0	137	11
② 既存県施設の老朽化対策	196	0	0	0	147	49
(2) 周辺環境の整備	23	0	6	0	0	17
① 県民会館の耐震診断の実施	20	0	6	0	0	14
② 生田警察署建替整備事業	3	0	0	0	0	3
合計	9,044	880	3,638	182	4,021	323

01

台風第7号に伴う災害への対応

兵庫県 令和5年度9月補正予算（緊急対策）

■台風第7号に伴う災害への対応：53.9億円

▶ 早期の再建に向けた、被災者生活支援、中小企業や農林水産業の再生支援、施設等の復旧・復興対策を実施

○災害救助費繰替支弁金の交付：1,300万円

災害救助法が適用された**香美町**に対し、**法に基づき災害救助費繰替支弁金を交付**

・ **対象経費** 災害救助に要する経費（住宅の応急修理、障害物の除去等）

○災害援護金の支給：300万円

災害援護金等の支給に関する規則に基づき、**被災者に対し災害援護金を支給**

・ **支給単価等**

対象者	支給単価	件数※
全壊	20万円	0件
半壊	10万円	2件
床上浸水	5万円	33件
一部損壊	5万円	3件
重傷被災者	3万円	1件
計		39件

※8/25時点の件数

○災害援護資金貸付金の原資貸付の実施：200万円

被災者に貸し付ける**災害援護資金**について、**市町に対する原資貸付を実施**

○災害対応貸付制度の活用：既定予算対応

中小企業者・農家等の被災設備等の復旧を支援するため、**低利の融資を実施**

施設の復旧・復興対策

○災害復旧事業：53.7億円

台風第7号により被害を受けた施設の復旧を実施

<公共農林土木施設災害復旧事業>

(単位:百万円、箇所)

区分	所要額	箇所数	主な実施箇所
1 土木施設災害復旧	3,229	147	—
(1) 公共土木施設災害復旧	3,199	144	—
道路	1,003	28	若桜湯村温泉線（新温泉町）ほか〔路肩崩壊等〕
河川	1,689	82	矢田川（香美町）ほか〔護岸崩壊等〕
砂防	507	34	板仕野川（香美町）ほか〔護岸崩壊等〕
(2) 公共事業(災害関連)	30	3	—
港湾	15	2	竹野港海岸（豊岡市）ほか〔海岸漂着物〕
海岸	15	1	香住海岸（香美町）〔海岸漂着物〕
2 農林水産施設災害復旧	652	206	—
(1) 公共農林水産施設災害復旧	443	203	—
農地・土地改良施設	180	190	農地〔畦畔崩壊〕、水路〔土砂流入〕、道路〔法面崩壊〕等
林道	231	12	三川線（香美町）ほか〔法面崩壊、土砂流入等〕
漁港	32	1	香住漁港（香美町）〔港内漂着物〕
(2) 公共事業(災害関連)	209	3	—
治山	70	1	入江（香美町）〔土砂流入等〕
漁港	139	2	香住漁港（香美町）浜坂漁港（新温泉町）〔海岸漂着物〕
合 計	3,881	353	—

施設の復旧・復興対策

< 県単独災害復旧事業 >

(単位:百万円、箇所)

区分	所要額	箇所数	主な実施箇所
1 土木施設災害復旧	1,056	520	—
道路	300	220	(国)426号(豊岡市)ほか〔土砂流出等〕
河川	400	150	矢田川(香美町)ほか〔護岸崩壊、土砂撤去等〕
砂防	328	144	大谷川(養父市)ほか〔護岸崩壊等〕
港湾	18	3	東播磨港ほか〔海岸漂着物等〕
海岸	10	3	江井ヶ島港海岸ほか〔海岸漂着物等〕
2 農林水産施設災害復旧	431	12	—
治山	430	11	村岡区高津(香美町)ほか〔山腹崩壊等〕
漁港	1	1	妻鹿漁港(姫路市)〔港内漂着物〕
合計	1,487	532	—



矢田川水系矢田川
(香美町香住区三谷)



(一) 霧滝村岡線
(香美町村岡区熊波)



香住海岸訓谷地区

02

豚熱への対応

兵庫県 令和5年度9月補正予算（緊急対策）

豚熱への対応

■豚熱への対応：7,300万円

- 7月に南あわじ市の養豚農場で発生した豚熱を踏まえ、**まん延防止・発生予防対策に対し所要の予算措置を講じる**とともに、**発生農場等の経営支援策を実施**

(単位：千円)

実施内容		予算額
まん延防止・発生予防対策		71,000
発生農場の殺処分・消毒 の実施	発生農場の全家畜の殺処分（698頭）と消毒の実施	67,000
県内全農場の消毒 の実施	県内全養豚農場（16箇所）で消毒を実施するための消石灰・液体消毒液を配布	4,000
経営支援対策		2,000
経営安定化対策資金 の拡充	養豚農家の経営を支援するため、利子補給を実施する（ 当初3年間無利子化等 ）とともに国制度を補完する資金等を拡充	2,000
関連中小企業者への 資金繰り支援	関連中小企業者の資金繰り支援として経営円滑化貸付の融資要件の弾力的運用を実施 ※売上減少対象期間：直近3か月間→ 1か月間	— (既定融資枠対応)

03

県民生活の安全・安心の確保

兵庫県 令和5年度9月補正予算（緊急対策）

児童の安全対策等の推進

■児童虐待事案のリアルタイム情報共有システムの構築：6,600万円

➤ 子どもの安全確保に欠かせない警察との緊密な連携を推進するため、**県こども家庭センター・警察間において、児童虐待事案のリアルタイム情報共有システムを構築**

○運用開始 令和6年秋頃（予定）

<警察との全件共有のリアルタイム化のポイント>

	現状	共有システム導入後
情報更新頻度の短縮	月1回 (専用共有フォルダ内で共有)	即時 ※1時間毎に更新 (システムで共有)
共有内容の拡大	氏名、性別、生年月日、住所、虐待種別等	氏名、性別、生年月日、住所、虐待種別、 過去の通告状況、一時保護歴等
アクセスの迅速化	各警察署は警察本部に電話等で確認	各警察署から直接システムにアクセス



児童の安全対策等の推進

■認定こども園・保育所等ホットラインの拡充：500万円

- 保育の質のさらなる向上につなげるため、**相談受付時間を延長するとともに、新たにLINEによる受付も実施**するなど、相談・受付体制を強化

	現 行	拡充内容
電話相談 # 7350	平日9～17時	平日 9～ 21時 土日祝 9～17時
相談方法	電話 メール・F A X	LINE相談 を追加
その他	保育相談専門員のみが対応	現行対応に加え、必要に応じ法的案件は 県から弁護士へ相談

■児童養護施設の子どもたちの夢はぐくみ応援事業：300万円

- 児童養護施設の子どもたちが、将来に希望をもち夢に向かって取り組めるよう、小さな頃から**多様な出会いの中で夢をはぐくむ機会を創出**

	小学校	中学校	高 校
	夢ふれあい交流事業（100万円）		夢かたりあい交流事業（200万円）
	大学生と 自然体験や対話 を行うプログラムを実施し、 将来の進路選択の視野を広げる 機会とする。		県内の大学生と、 大学生生活や就職活動、勉強の意義 などを語り合い、 進路選択 を考える機会とする。
場所	ハチ高原（養父市）		児童養護施設（33カ所）等
日程	10月7日(土)～9日(祝) 2泊3日		10月～3月
入所児童	20名程度（主に小5～中1）		主に中2～高2
内容等	事前オリエンテーション、キャンプ等		大学生等との語り合い

大学生モデルを知る

目標を具体的に描く

■SNS等を活用したがん検診受診・ワクチン接種促進事業：800万円

- ▶ 新型コロナウイルスへの感染の不安から受診率が低下しているがん検診や、HPV、インフルエンザ等の定期接種、さらには定期接種化が検討されている带状疱疹ワクチンの効果等について、**積極的な広報を展開**

○実施内容 SNS上におけるWEB広告、ポスターを作成・掲示

<参考1> がん検診・ワクチン接種の主な対象者

区分		対象者
がん検診	胃・肺・大腸・乳	40歳 or 50歳～
	子宮頸	20歳～
ワクチン接種	(A類疾病) 集団予防が重点 麻しん・風しん	1歳、5歳～6歳相当
	(B類疾病) 個人予防が重点 HPV (ヒトパピローマウイルス)	12～16歳相当
	任意接種 インフルエンザ	65歳～
	任意接種 带状疱疹	50歳～

<参考2> がん検診受診率（市町）及びワクチン（定期接種）の接種率

年度	胃		肺		大腸		乳		子宮頸	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
R1	4.3	7.8	4.6	6.8	6.6	7.7	14.0	17.0	10.6	15.7
R2	3.8	7.0	3.8	5.5	5.8	6.5	13.3	15.6	10.2	15.2
R3	3.7	6.5	4.2	6.0	6.0	7.0	13.4	15.4	10.8	15.4

年度	麻しん・風しん (1歳)		麻しん・風しん (5～6歳相当)		インフルエンザ (65歳以上)	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国
R1	94.9	95.4	94.2	94.1	54.7	50.4
R2	99.2	98.5	95.5	94.7	63.7	65.6
R3	92.7	93.5	93.9	93.8	54.2	55.7

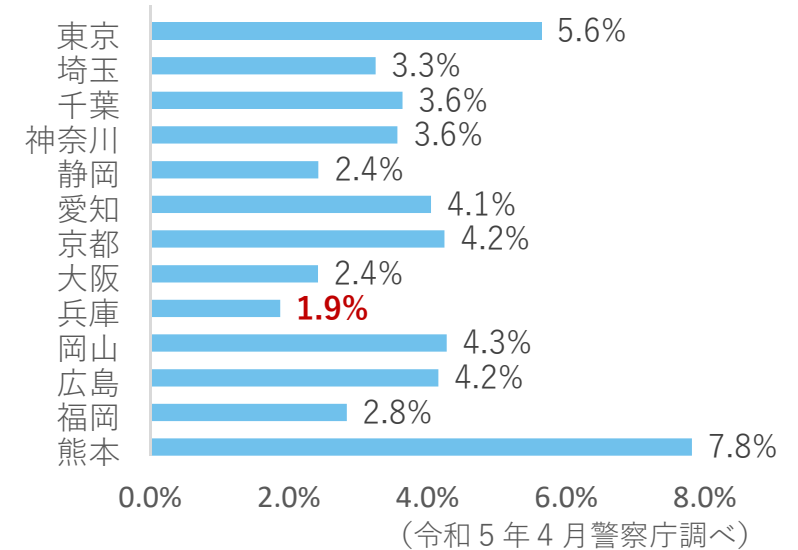
■自転車ヘルメットの着用促進に向けた支援：7.9億円

➤ 令和5年4月から、道路交通法の改正により全年代のヘルメット着用が努力義務化されたなかで、**本県の着用率が低迷**している状況を踏まえ、**購入支援を実施**

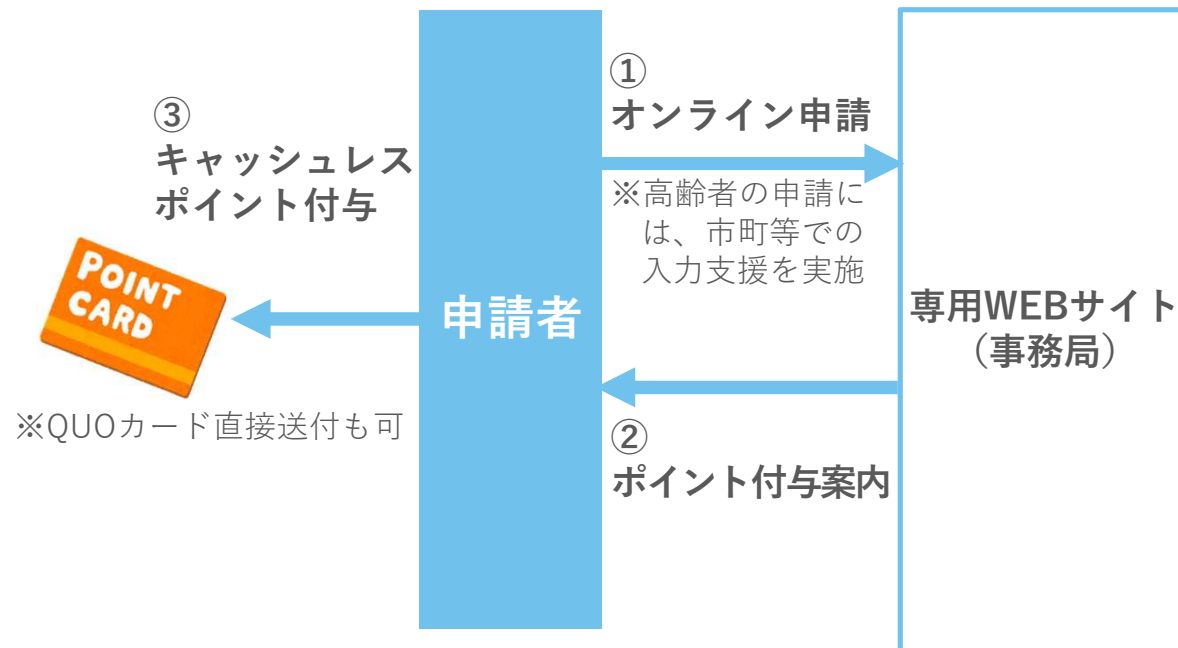
- ・ **給付対象** 高齢者（65歳以上）
子育て世帯（親と18歳までの子）
大学生等
- ・ **給付上限** 4千円/人
- ・ **申請開始** 12月初旬



都府県別の自転車乗車用ヘルメット着用率

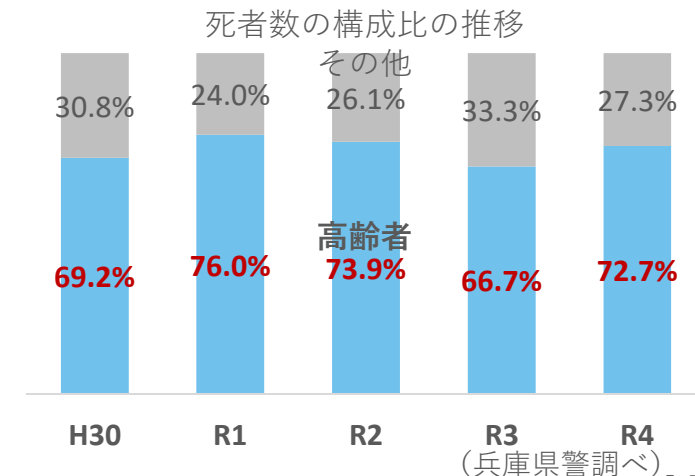


<申請・給付イメージ>



兵庫県内の自転車乗車中の死者数の推移

	H30	R1	R2	R3	R4
死者数	13	25	23	12	22

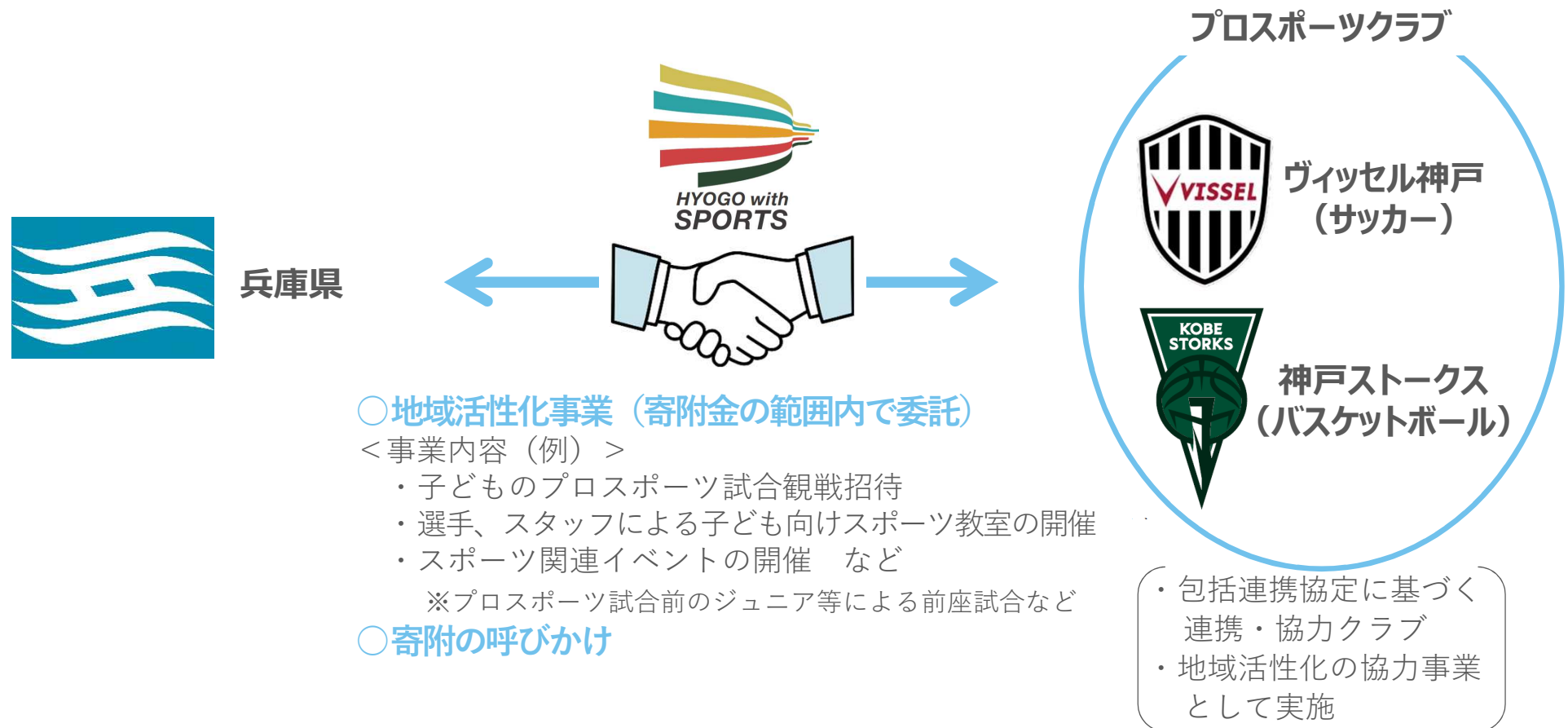


安全で豊かな生活の確保

■プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト：6,000万円

(ふるさとひょうご寄附金)

- 県民の一層のスポーツ機会の充実と生活の質的向上を推進するため、**プロスポーツクラブと連携**した地域活性化プロジェクトを実施



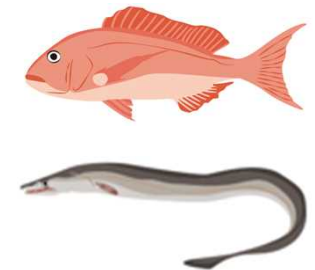
■美味しい県産水産物 消費喚起キャンペーンの実施：7,000万円

- 子どもの魚嫌いを1つの要因として魚離れが進む中、福島第1原発の処理水海洋放出をきっかけに、**魚の買い控えにより、更なる魚離れが懸念されることから、広く県産水産物の消費を喚起する各種キャンペーンを実施**

○「ひょうごの魚」学校給食応援事業（6,625万円）

兵庫県で水揚げされるマダイ、ハモなどを県内小中学校の給食で提供

- ・ **実施時期** 令和5年11月～令和6年2月頃
- ・ **事業内容** 食材費の支援（100円/食×65万食）
〔 県内小中学校約1,100校
生徒数40万人×1～2回分相当 〕



○「ひょうごの魚」対面販売強化事業（325万円）

県産水産物の消費の拡大を図るため、量販店等で調理実演や普及資材の配布等を実施

- ・ **実施時期** 令和5年11月～令和6年2月頃
- ・ **実施場所** 百貨店、大手スーパー等



○「ひょうごの魚×福島の魚」コラボフェアの開催（50万円）

両県の魚の食べ比べのほか、福島県の魚の安全性PRと郷土料理を楽しむ企画を開催

- ・ **実施時期** 令和5年11月（予定）
- ・ **実施場所** 県内飲食店

■生徒への安定的な食事提供に向けた取組：1,700万円

- 原材料費等高騰の影響により、学校の食堂運営事業者の経営が困難となり、生徒への食事提供が停止される事例が発生したことを踏まえ、**生徒に対して安定的に食事等を提供するため、食堂運営事業者等を応援**する取組を実施

○学校食堂魅力アップ応援事業：1,700万円

食堂運営事業者による**生徒への魅力的なメニュー開発を支援**

- ・ **対象校** 学食を設置する県下全ての高等学校等 162校
(県立学校106校、私立学校等56校)

- ・ **支援内容** 10万円/校

- ・ **対象経費** 材料費、光熱水費、人件費等

- ・ **実施イメージ**

生徒からのアンケートの募集や、家庭科クラブとの協働などにより魅力あるメニューを試作開発し、生徒に提供



○県立高校における自販機の設置使用料の免除

- ・ **内容** **食堂運営事業者が設置する自販機の設置使用料を免除**

- ・ **現行の設置状況 (食堂運営事業者設置分)**

対象校数 (県立) : 105校、設置台数 : 402台

使用料の減免 : 260万円程度 (R5.10~3月分)

社会基盤の充実・強化

■公共事業内示増への対応：20.4億円

- ▶ 公共事業の国内示増に対応し、経済活動等を支える高規格道路の整備や施設機能を確保する老朽化対策を推進

○公共事業

(単位:百万円)

区分		事業費 (県負担額)	主な箇所	事業内容
通常	道路	1,499	加古川小野線東播磨道 (加古川市～小野市)	橋梁上下部工・道路改良工
	公園	38	明石公園(明石市)	運動施設改修等
	区画	136	英賀保駅周辺地区	JR立体交差
計		1,673		



東播磨道(小野市榎山町)

○国直轄事業

(単位:百万円)

区分		事業費 (県負担額)	主な箇所	事業内容
通常	道路	216	国道28号洲本バイパス	道路改良工
	砂防	100	六甲山系	砂防堰堤等
	港湾	52	姫路港	臨港道路整備等
計		368		



六甲山系(神戸市ほか)

04

本庁舎の再編

兵庫県 令和5年度9月補正予算（緊急対策）

本庁舎再編スケジュール

- 県庁1号館、2号館、別館及び西館については、耐震性不足が明らかとなったことから、同庁舎に配置している部局を、3号館、生田庁舎、公館及び職員会館に移転のうえ、移転後は同庁舎を解体する。

＜本庁舎再編スケジュール＞ ※1教育委、監査委、人事委、労働委、※2神戸市水道局旧東部センター、※3県立総合衛生学院中山手分校

区 分	R5年度			R6年度		R7年度		R8～11年度
	7～9月	10～12月	1～3月	上期	下期	上期	下期	
1号館、2号館、議場棟、別館、西館		解体設計					退去	解体工事 → 緑地
3号館		改修設計		退去	改修工事			入居
3号館部局※1の仮移転 (住吉※2、中山手※3)		賃貸契約・入居工事		↓	入居	↓↓		
生田庁舎、公館、職員会館		改修設計			改修工事		↓	入居

＜本庁舎再編に係る必要額＞

(単位：百万円)

区 分		R5年9月補正	～R11年度	計
本 庁 舎 再 編	1号館、2号館、議場棟、別館、西館の解体、暫定緑地化	206	6,970	7,176
	3号館、生田庁舎、公館、職員会館の改修（オープンオフィス化等）	45	1,329	1,374
	サーバー・システム等の移転	0	2,908	2,908
	その他（備品購入、公文書保存等）	0	1,457	1,457
	合 計	251	12,664	12,915

■本庁舎再編：2.5億円

＜本庁舎の解体撤去：2.1億円＞

- ・対象施設 1号館、2号館、議場棟、別館、西館
- ・実施内容 解体設計

＜既存県施設のオープンオフィス化等の改修：0.4億円＞

- ・対象施設 3号館、生田庁舎、公館、職員会館
- ・実施内容 オープンオフィス化、展示室や和室等から事務室への転用改修の設計

■老朽化対策：2.0億円

- ・対象施設 3号館、生田庁舎、公館、職員会館
- ・実施内容 屋上防水、外壁補修、電気設備・空調設備・配水管更新等の設計

■県民会館の耐震診断の実施：2,000万円

➤ 築後55年が経過し老朽化の進む県民会館についても詳細な耐震診断を実施

- ・実施内容 時刻歴応答解析の実施
- ・調査結果 令和6年9月頃判明見込み

■生田警察署建替整備事業：300万円

➤ 生田警察署の現地建替に向け、必要となる敷地測量を実施

- ・実施内容 現用地、仮設庁舎用地（県庁南駐車場）及び警察本部庁舎の敷地測量